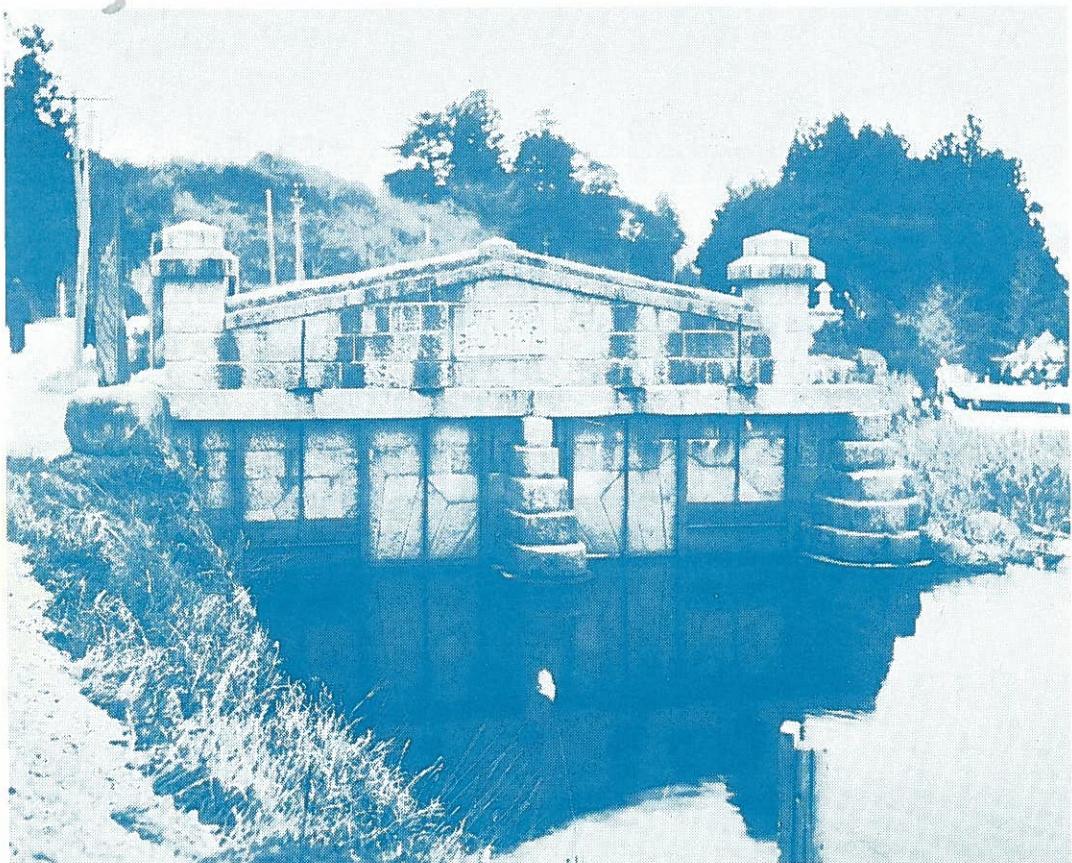


むつみ

第22号 1986. 1. 10



福島県土地改良団体職員連絡協議会

会員の皆さん、明けましてお目出度うございます。皆さんにはお元気で新年を迎えたことと、心からお祝い申し上げます。

元旦の朝、それは昨日となんら変わらない朝ですが、矢張り一月一日の朝と思うとなんとなく、空気もすがすがしく、心が晴々として、気の引き締まる思いがして、よし今年も一丁頑張ろうと言う気が湧いて来るから誠に不思議である。

六十年度は、二年連続の豊作でしたが、信達平野の米作は、新聞紙上で宣伝された程の豊作ではなかったようですが、まあ平年作を一寸上まわった位の出来のようでした。最近では農作であっても、手離しでは喜こべない状況で、全く困った事だと思います。二年連続の豊作で、六十一年度の減反面積が又五十九年度並みの一七、九二〇haとなる由です。

年々才々米の需要が減って来て居り、(現在では横バイのようですが)

会長 高倉政彦

人間一人誕生すると米三俵要るなどと言われたものでしたが、現在では一人年一俵と一寸位に減つて来ているわけです。余るものどんどん増えるわけです。余の

福島県土地改良団体職員連絡協議会、会員の皆様明けましてお目出度うございます。皆様にはご健勝で、

新 春 を 迎 え て

県土地連会長 笠原太吉

作となり、農家の皆さんにとって豊かな稔りの秋を大きな喜びをもつて迎えられたことと存じます。然しながら県内の経済情勢は全国的に上昇傾向にあつたにもかかわらず、急速な円高等もあって、不景気のま

んだ土地改良事業をおこして、生産

め果樹蔬菜とも前年に引き続いて豊

く一年度から撤廃までは行かないにしても、その内容を若干手直しされる

ような記事が、新聞に出ていたように記憶している。とにかく質のよいものを、より安く作る工夫をして行く

かないと、農業は他の産業からどん

どん立ちおくれてしまう心配がある。

だからその地域の特性をおり込

んで土地改良事業をおこして、生産

め果樹蔬菜とも前年に引き続いて豊

く一年度から撤廃までは行かないにしても、その内容を若干手直しされる

ような記事が、新聞に出ていたよう

に記憶している。とにかく質のよい

ものを、より安く作る工夫をして行

く

かないと、農業は他の産業からどん

どん立ちおくれてしまう心配がある。

だからその地域の特性をおり込

年頭の所感

会長 高倉政彦

性を上げ少しでも安く作る努力が必要となつて來るのである。どうやつたら生産費を安く出来るか、どうやつたら水田の汎用化がされて、米以外のものが作れるか、どうやつたら農村の環境整備が出来るか等、この辺の事をよく考えて土地改良事業と外のものが作れるか、どうやつたら農家のためになる吾々の同志を、国に、國のためになる、そして又農村に送り出す事が現下の最大使命であると思います。

農業が国際的に足、腰の強い産業として自立するために、常に農業の将来を展望しつつ、農家と共にあらゆる吾々の土地改良区の任務達成のために、会員皆さんの尚一層のご精進を切にお願いする次第であります。

またまことにない事を、思いつくままに書き綴りましたが、吳々も健康には充分ご留意されまして、この'86'が皆さんにそして農家に、すばらしく良い年でありますように、心から祈念申し上げまして、年頭の所感の一端といたします。

農業が国際的に足、腰の強い産業として自立するために、常に農業の将来を展望しつつ、農家と共にあらゆる吾々の土地改良区の任務達成のために、会員皆さんの尚一層のご精進を切にお願いする次第であります。

農業が国際的に足、腰の強い産業として自立するために、常に農業の将来を展望しつつ、農家と共にあらゆる吾々の土地改良区の任務達成のために、会員皆さんの尚一層のご精進を切にお願いする次第であります。

農業が国際的に足、腰の強い産業として自立するために、常に農業の将来を展望しつつ、農家と共にあらゆる吾々の土地改良区の任務達成のために、会員皆さんの尚一層のご精進を切にお願いする次第であります。

農業が国際的に足、腰の強い産業として自立するために、常に農業の将来を展望しつつ、農家と共にあらゆる吾々の土地改良区の任務達成のために、会員皆さんの尚一層のご精進を切にお願いする次第であります。

農業が国際的に足、腰の強い産業として自立するために、常に農業の将来を展望しつつ、農家と共にあらゆる吾々の土地改良区の任務達成のために、会員皆さんの尚一層のご精進を切にお願いする次第であります。

農業が国際的に足、腰の強い産業として自立するために、常に農業の将来を展望しつつ、農家と共にあらゆる吾々の土地改良区の任務達成のために、会員皆さんの尚一層のご精進を切にお願いする次第であります。

農業が国際的に足、腰の強い産業として自立するために、常に農業の将来を展望しつつ、農家と共にあらゆる吾々の土地改良区の任務達成のために、会員皆さんの尚一層のご精進を切にお願いする次第であります。

農業が国際的に足、腰の強い産業として自立するために、常に農業の将来を展望しつつ、農家と共にあらゆる吾々の土地改良区の任務達成のために、会員皆さんの尚一層のご精進を切にお願いする次第であります。

目 次

1. 年頭の所感 会長 高倉政彦
2. 新春を迎えて 県土地連会長 笠原太吉
3. 大 足 福島農地事務所 早坂博
4. 私と土地改良区 矢吹原土地改良区 水戸守伊
5. 土地改良施設の管理と賦課徴収 熱塩加納村土地改良区 鈴木尚
6. 熱塩加納村土地改良区の概要 熱塩加納村土地改良区 鈴木尚
7. ほ場整備の実施状況 飯館村土地改良区 斎藤耕一
8. 雜 談 飯館村土地改良区 斎藤耕一
9. 改良区の内容と私の趣味 会津若松市 大戸町土地改良区 小澤雪
10. 改良区の業務に携わって 小規模土地改良区の問題
11. 昭和60年度第2回役員会（8月30日開催） 事務局
12. 飯盛山弁天洞門と佐藤豊助の功績 戸ノ口堰土地改良区 兼子正
13. 猪苗代湖より取水する戸ノ口堰の歴史 戸ノ口堰土地改良区 兼子正
14. 土地改良相談事例 事務局
15. 振込みによる受領証について（会検情報より） 平形清一
16. 昭和60年度土地改良県外研修 平形清一
17. (9月30日、10月1日開催、山形県鶴岡市)
18. 吞み屋で拾った話（その十四） 平形清一
19. (1) 酒飲みの大壳出し (2) 飲み屋と晩酌 (3) 美人ママ
20. (4) 酒代 (5) 酒のご馳走 (6) 酒のことば
21. 編集後記

表紙は、磐城小川江筋土地改良区の夏井川よりの源門取水口
(いわき市小川町)

更に、昨年は町村における汚職等が新聞紙上を賑し、そのために年末まで選挙が相い次いで行なわれましたが、幸い土地改良区では皆様のご精進によって不祥事の発生はなく、そのご努力に対し衷心より敬意を表するものであります。

年末には例年のとおり昭和六十一年度の政府予算の編成が行なわれ、私も二十三日から二十七日まで土地改良関係予算の確保に奔走して参りましたが、その結果は既にご承知のとおり、財政再建という大きな制約の中では決して満足の出来るものではありませんでしたが、国営土地改良事業につきましては県が要望した額をほぼ確保することが出来ましたので、一応の成果を挙げ得たものと考えております。勿論、県営土地改良事業や団体営土地改良事業の予算配分につきましてはこれからが正念場でありますので、県とも充分な連絡を取りながら昭和五十八年に策定期計画の達成に必要な予算枠の確保に、皆さんのご協力を頂きながら更に努力を重ねて参る所存であります。

私は、日頃土地改良の推進には政治力が大切であることを申し上げて

おり、本年実施されます参議院議員通常選挙には既に現参議院議員岡部三郎先生の推せんを決定して、昨年は須賀川市において県土地改良推進大会を開催して大変好評を頂きました。更に岡部先生の当選を期して党員の募集、後援会名簿の調製なども

行ないましたが、いづれも目標を上廻る実績を挙げることが出来ましたので年末の予算対策にも大きな力となりました。紙上をお借りいたしましてそのご協力に対し厚く御礼を申し上げる次第であります。今年はそ

の選挙の年でありますので地方区候補者には現参議院議員鈴木省吾先生の推せんも決定しており、両先生の必勝を期して重ねてご協力下さるよ

うお願い申し上げるものであります。

新春を迎えるに当たり、以上思いつくままを申し上げましたが、今年は寅年でもありますので会員の皆様に

は健康で大いにご活躍されますよう心から祈念いたしまして年頭のご挨拶といたします。


皆さんにはコッペパンを知っていますか。昔学校の帰り、空き腹に買いましたが、白がいいとかコンビがいいとか良からみれば、何と贅沢な悩みなの喰らいたした、先の丸まつたスマートで年末の予算対策にも大きな力となりました。紙上をお借りいたしましてそのご協力に対し厚く御礼を申し上げる次第であります。今年はそ

の選挙の年でありますので地方区候補者には現参議院議員鈴木省吾先生の推せんも決定しており、両先生の必勝を期して重ねてご協力下さるよ

うお願い申し上げるものであります。

新春を迎えるに当たり、以上思いつくままを申し上げましたが、今年は寅年でもありますので会員の皆様に

は健康で大いにご活躍されますよう心から祈念いたしまして年頭のご挨拶といたします。

大足

福島農地事務所

早坂博

編上げがいいとか、踵が高いものとかも、白がいいとかコンビがいいとか。

私がどうぞ、靴に足を合わせる類で、気の毒そうに店員が差し出す数足の靴が、選択できる最大限のですか

皆さんにはコッペパンを知っていますか。昔学校の帰り、空き腹に買いましたが、白がいいとかコンビがいいとか良からみれば、何と贅沢な悩みの喰らいたした、先の丸まつたスマートで年末の予算対策にも大きな力となりました。紙上をお借りいたしましてそのご協力に対し厚く御礼を申し上げる次第であります。今年はそ

の選挙の年でありますので地方区候補者には現参議院議員鈴木省吾先生の推せんも決定しており、両先生の必勝を期して重ねてご協力下さるよ

うお願い申し上げるものであります。

新春を迎えるに当たり、以上思いつくままを申し上げましたが、今年は寅年でもありますので会員の皆様に

は健康で大いにご活躍されますよう心から祈念いたしまして年頭のご挨拶といたします。

中あわせに雲をつくような大男が、友人と話しているのを何とはなしに耳に入ってきた。何でも身長は一八七cmあって、とてもじゃないが

軽自動車に乗るのは苦痛だ、洋服をつくるのも容易でない、何より靴には参ってしまった。同情といお

うか、同類の憐れみで、私は思わずニヤリとしました。

私の身長は人並みですが、足ばかりに入っています。革靴はいうに及ばず、長靴が大きくなつたことから、昔に較べれば、非常に幸わせに感じております。少なくとも、黒か茶かの色の選択は出来るようになりました。

私も人並みに、いろんな靴を持つています。革靴はいうに及ばず、長靴が、選択できる最大限のですか

それでも、最近の若い人達の身体が大きくなつたことから、昔に較べれば、非常に幸わせに感じております。

私は、靴を買われるとき、どちらも人並みですが、足ばかり

りは、何故か人並み外れて大きいのです。大きな足に苦労した話は、枚挙に暇がありません。

皆さんには、靴を買われるとき、どんな基準で選ばれますか。例えば、

大きな足に苦労した話は、枚挙に暇がありません。

なかでも傑作はスキー靴です。スキーキー場にいくたびに、貸スキーを借

ります。

目下関係六市町村長と土地改良区が一緒になって「隈戸川地区農業水利開発促進協議会」をつくり、国営第一期工事を起こそうと努力しております。

矢吹原土地改良区は昭和二十年代に、白河、矢吹国営開拓事業で造成された施設を、国から委託を受け維持管理しており、受益面積は一、六

年三月まで、四月から国営矢吹地区、今後の矢吹西部土地改良区設立前の促進協議会に五十八年十月まで、矢吹町からの出向で勤め、五十八年十一月から現在の矢吹原土地改良区に奉職してようやく二年になつたところであります。それで職員諸君に助けられ普通にいう馴れてきたところです。

矢吹原土地改良区は昭和二十年代に、白河、矢吹国営開拓事業で造成された施設を、国から委託を受け維持管理しており、受益面積は一、六

四一ha、組合員一、四二六人の改良区です。

施設は何せ戦後資材不足のときの工事でしたので、近年は老朽化が進みこれの改修が焦眉の急となつてお

ります。

目下関係六市町村長と土地改良区が一緒になって「隈戸川地区農業水

利開発促進協議会」をつくり、国営第一期工事を起こそうと努力してお

ります。

矢吹原土地改良区は昭和二十年代に、白河、矢吹国営開拓事業で造成された施設を、国から委託を受け維持管理しており、受益面積は一、六

四一ha、組合員一、四二六人の改良区です。

施設は何せ戦後資材不足のときの工事でしたので、近年は老朽化が進みこれの改修が焦眉の急となつてお

ります。

矢吹原土地改良区は昭和二十年代に、白河、矢吹国営開拓事業で造成された施設を、国から委託を受け維持管理しており、受益面積は一、六

私と土地改良区

矢吹原土地改良区 水戸守伊

皆様、良い年を迎えておめでとうございます。

二年続きた豊作に恵まれ、世の中もおだやかでほんとに結構な初春でございます。

昨年は国内外で人災、天災が相づぎ起きましたが、今年はそうでもなくねがいたいものです。

私の子供の頃、冬はよく足袋をはいていたもので、ある日、木綿の安い足袋を買おうと、おふくろに貢りました。

大変なものでした。おかげ様で、靴に合わせて、スキーも買うはめとなりました。

私の子供の頃、冬はよく足袋をはいていたもので、ある日、木綿の安い足袋を買おうと、おふくろに貢りました。

皆様、良い年を迎えておめでとうございます。

二年続きた豊作に恵まれ、世の中もおだやかでほんとに結構な初春でございます。

昨年は国内外で人災、天災が相づぎ起きましたが、今年はそうでもなくねがいたいものです。

改良事業に縁をもちましたのは、昭和四十四年県は矢吹地区準備のときからで、今の矢吹土地改良区に五十

土地改良区と組合員の関係は、米作りをやってる限り続くわけで、他の貸借、売買のようなわけにはいか

— 4 —
ず、怒らせたり、けんかして後にしきりを残してはいけませんので、苦心するところです。

土地改良区としては用水をスマーズに供給できて、天候も良く豊作に恵まれ、賦課金の徴収も好調で、役員の和が固く、新しい事業に着手できれば最高ですね。

中国山西省の僻村で、農家の戸口

に正月の貼紙があった。赤い短冊に墨で「順風順雨天下泰平」とあったのを四十幾年か経て思い出します。た。わが矢吹原土地改良区は、羽鳥ダムにすべて頼っていますので、年頭に当り「順風順雨天下泰平」願っております。

皆様の御健勝を祈り申し上げます。

熱 塩 加 納 村

土地改良区の概要

熱塩加納村土地改良区 鈴木 尚

本地区は、会津盆地の最北部に位置し、磐越西線喜多方駅を始点とする国鉄日中線（昭和五十九年三月三十一日廃止）にて約10kmの地点加納駅と終点熱塩駅のそれぞれを中心とに、阿賀川の支流濁川、押切川の両側に展開するやや急な傾斜を呈する耕地で水稻栽培を中心とする農業経営に依存する地域であります。

当改良区は、元来村内を南北に流下する野辺沢川の右岸より取水する八ヶ村用水堰の維持管理を固有の事

が大の苦手で、今回のこの原稿も提出期日ギリギリとなり、書かなければそれで済むという性質の団体でもなさそうなので、重いペナ走らせました。

月日のたつのは早いもので、私もこの改良区に勤めて十二年が過ぎようとしております。私が勤めた頃は常勤理事長、役場から出向の事務局長の他職員四名の計六人が勤めておりましたが、十二年の間に職員一人辞め二人辞めし、また三年前から理事長も非常勤となり、さらに役場から出向の事務局長まで、六十年度より來ない事になりました、現在は私一人がこの改良区に勤めております。又今まで単独の事務所を構えておりましたが、私一人だけと言うことで現在は役場産業課の一角をお借りし、飯館村土地改良区事務所としています。

ところで話は變りますが、皆さん聞いて下さい。三十才を目前として私の、私の大事に手入れしてきた髪洗うたびに抜毛が手にまわりつづいて、今まで私には無縫のものだったテレビコマーシャルのカロヤンなんとかや、アデランスがとても気に

なり出しました。今のところよく見ないと他人には分らない程度ですが鏡を写すと場所によっては地肌が見えるのです。原因を考えたのですが、前にも書いたように四月から私一人で土地改良区の仕事一切を任せられました。同じ頃は、いつも書いたように四月から私一人で土地改良区の仕事一切を任されて責任が重くなつたせいなのか、それとも趣味のパチンコが不調のせいなのか、いろいろ考えております。何かいい薬があつたら当改良区事務局までご連絡ください。

私の趣味はパチンコの他に野球、海釣りがあります。しかもこの三つともほとんど夜と言う共通点があります。と言うのは私は、農家の長男で土、日は雨でも降らない限り家の仕事があるので、好きな趣味をやるのはどうしても夜が中心となつてしまします。我村には野球、ソフトのやれるナイター設備が四ヶ所あり、

仕事を終えた若者が夜を利用して野球を楽しむ訳です。又海釣りにしても日中より夜の方がいろんな魚が釣れるので結構楽しめます。パチンコが終つてから二三人で息抜きに出かけます。以前はこづかいに困らなければなりませんが、主に冬が中心ですが勤めに出て、今までは主に冬が中心ですが勤めの毛が最近薄くなってきたのです。

近の機械はコンピュータなるもので、今まで私には無縫のものだったテレビコマーシャルのカロヤンなんとかや、アデランスがとても気に

整備事業として、昭和三十九年、根岸地区（七・一ha、一七五万円）、昭和四十三年、四十五年には半在家地区（五一・六ha、五・五六八万円）、昭和四十四年、金屋西原地区（九・二ha、八〇〇万円）、昭和五十三年（二、九〇〇万円）を施行し、さらに昭和四十九年度より県営ほ場整備事業を継続実施中であります。

県営ほ場整備事業の内容は、昭和四十九年十一月着工し、昭和六十二年度完了の予定で総事業量六〇五ha（整地工田四三六ha、畠八四ha、計五二〇ha）、総事業費三七億円で現在補竣工事を実施中であります。なお、換地工区は三工区に分れており第一、第二工区は昭和六十年度処分完了の予定で進めております。次に本改良区の組織運営ですが、組合員六三〇名、理事二三名、監事三名、総代三名、

以上土地改良区の事業及び組織運営の理解と協力により両事業が円滑に進められており、また改良区の賦課金の徴収率は昭和四十九年度県ば事業着工以来、経常、特別共一〇〇%であります。本地区内の県営ほ場整備事業は、国営会津北部かんがい排水事業と密接な関係があるが、組合員の理解と協力により両事業が円滑に進められており、また改良区の賦課金の徴収率は昭和四十九年度県ば事業着工以来、経常、特別共一〇〇%であります。本地区内の県営ほ場整備事業は、国営会津北部かんがい排水事業と密接な関係があるが、組合員の理解と協力により両事業が円滑に進められており、また改良区の賦課金の徴収率は昭和四十九年度県ば事業着工以来、経常、特別共一〇〇%であります。

當に紹介しましたが、完成を目前にしたこの大事業を成し遂げた。そのため役職員全力をつくしております。

當に紹介しましたが、完成を目前にしたこの大事業を成し遂げた。そのため役職員全力をつくしております。

雜談

飯館村土地改良区 畑藤耕一

毎回、楽しく「むつみ」を読ませていただいております。

毎回、樂しく「むつみ」を読ませていただいております。

談

日本で一番大きいお札を両替したのに残りが合わない。落としたのかなあと色々なボケットを探すがない。

落したのではなく頭に血が上つてゐる間に自分の手が勝手に使つてしまふのである。やられた後で女房にパンツの一枚も買ってやった方が良かつたと後悔しながらも仕事のストレスをパチンコで解消しております。

大事な機関誌にくだらない話を書いてしまいました。申訳ありません。皆さんガマンして読んでください。

日本で一番大きいお札を両替したのに残りが合わない。落としたのかなあと色々なボケットを探すがない。落したのではなく頭に血が上つてゐる間に自分の手が勝手に使つてしまふのである。やられた後で女房にパンツの一枚も買ってやった方が良かつたと後悔しながらも仕事のストレスをパチンコで解消しております。大事な機関誌にくだらない話を書いてしまいました。申訳ありません。皆さんガマンして読んでください。

改良区の業務に携わつて

会津若松市大戸町土地改良区 小澤雪

私の所属する土地改良区は、会津若松市の南端に位置し南会津郡下郷

町に境する山間地域にあります。地区内の水田面積は一一〇haと誠に小

規模な改良区であり、従つて經營内容も乏しく専任職員の設置もままならないのが実情であり、第一線を退いた人材を適宜委嘱して運営管理に当つて居ります。ご多聞に洩れず私

もその一人であり未知の分野に携わ

つて三年目を迎えようやく土地改良区の使命、なすべき責務が見え始めたこの頃です。

当改良区の水田耕作組合員は二三〇名であり、一ha以上の耕作者は二九名足らずで平均耕作面積は〇・四八haと誠に零細であります。従つて水田の区域は一〇a未満の地区が非

常に多いのが実情です。

最近農業労働力の不足に伴って機械化が進む中で小規模な区画、点在する持分、農道の狭隘、山間部特有の湿田地帯はこれ等機械化の効果を半減させているのが実情であり、これらは問題解消のための区画整理、湿田解消のための事業の推進は急務と考えられます。が、前述のような零細な経営基盤のため主たる収入の場を他に求め、當農は二次的なものとなってきた現状での改良意欲は皆無と言つても過言でない状態であり、事業推進の取まとめは誠に至難

に近い問題として抱えている。

いずれにしても経験に浅く、専門的知識に欠ける私にとってどう対処すべきか大きな悩みとなつております。希わくば先輩諸氏の貴い体験、努力の方向付け等を聞かせいただき未熟な後輩をご指導下さるよう切にお願いする次第です。

事業の実施もなく実のある稿を寄せるすべもありませんので、当改良区の実態を紹介し諸先輩のご指導を希い併せて新しい年の益々のご活躍を祈念いたしまして筆を置きます。

昭和六十年度 第一回役員会開催

去る七月二十六日の総会において選出された、本協議会役員の初の役員会は八月三十日、午後一時から猪苗代町、沼尻勤労者保養センター母成会議室において役員十八名（三名欠席）、事務局より土地連の鈴木和五参事、三浦課長が出席して開催された。

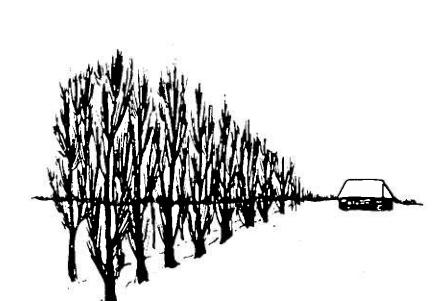
会議は鈴木参事があいさつされた後、東根堰土地改良区の菅野常雄事務局長が座長となり次の事項を協議した。

(1) 幹事会
会長、副会長の選出について
会長、副会長は規約第六条第二

(4) 未納会費、協賛金の督促について
八月末現在で十改良区二十一人分が未納となつてるので各役員を通じて、納入方をお願いした。

(5) むつみの原稿依頼、広告について
原稿の依頼については各土地改良区順番にお願いし寄稿していた

だいておりますが今後ともお願ひ



飯盛山弁天洞門と 佐藤豊助の功績

毎年会津を訪れる観光客は、約三

百二十万人にのぼるがその殆んどが飯盛山の白虎隊の墓に詣で、その足で白虎隊がくぐり抜けた戸の「堰弁天洞門を見学する。ガイドさんの説明を聞き乍ら洞門より流れで来る清流を見ていると、誠に往時を偲ばれる想いである。そこで今回は、会津藩の命により、洞門を開さくし、合せて戸ノ口堰用水路を改修した、佐藤豊助の功績について、先頃会津若松市内の教職にある方々が、調査しそのことを小冊子にまとめられましたので、それを御紹介すると共に、私達土地改良区の職員も、それぞれの分野でそれに負けず劣らず、地域の発展のためにあらゆる困難と戦い乍ら、各種の事業を進めて居ることを思い合せ、今私達がたづわっている仕事が今後の偉大な業績につながっているとの誇りと希望をもつて

クラシック型に曲折しているため、昭和五十九年度県當かんがい排水事業でコンクリート巻立を施工しましたが、史跡保存のこともありましたので出口と内部崩落の危険のない所一部を昔のまま保存してありますので、若し内部見学御希望の方があつたら、(改良区関係の方に限る)御一報下さい。

『土木事業に生涯をかけた人』 (佐藤豊助伝記)

- 一、計算好き
- 二、家老の頼み
- 三、計算を役に立てる
- 四、自然の力
- 五、洞門にいどむ
- 六、かげの功労者



戸ノ口堰土地改良区 兼子 正

取り組んでいく力の一助ともなれば幸いと思います。

尚この洞門の延長は約一八〇mで最近内部崩落が甚しく、加えて一部

洞門内部より出口を望む

項の規定により幹事の互選となつており各幹事が協議した結果次の方が選出されました。

会長 高倉政彦 (伊達西根堰)
副会長 兼子 正 (戸ノ口堰)
〃 堀川幸雄 (原町市)
〃 佐藤武男 (土地連)

九月三十日、山形県鶴岡市の赤川地区県ば事業を研修することになりました。

6 本年度県外研修の実施計画について
(1) 監査員会
代表監査員については浅野敏男(会津高田町)が再選されました。
(2) 未納会費、協賛金の督促について
八月末現在で十改良区二十一人分が未納となつてるので各役員を通じて、納入方をお願いした。

(3) 昭和六十年度の予算執行の中間報告について
四月より八月までの予算の中間報告を行い今後の見込についても併せて協議した。

(4) 手引について
昭和六年版土地改良区運営の手引について前の手引との改正点などを中心に説明(平形嘱託)された。

(5) その他
昭和六年版土地改良区運営の手引について前の手引との改正点などを中心に説明(平形嘱託)された。

いざというとき、お城は空ぼりになってしまった。火事でもおきたら、消すことができないわけだ。」「いや、戦ばかりではない。火事でもおきたら、消すことはできるが、どんな水が少くなつていく。」「これでは、いざというとき、お城は空ぼりになつてしまふ。」「いや、戦ばかりではあるが、どちらと口から出てくることばは、どちらだまつておられるが、何かおれも不安でいっぱいです。静まりかえった石垣のあたりから、静かな松風の音が聞えています。「人々の暮しもこまるだろうな。農民だけではない。年貢がとれなくなれば、武士の生活もこまる。」「西郷どの、先是どちらだまつておられるが、何かお考えでもおありかな。」だまつて先輩の家老の話を聞いていた西郷頼母(戊辰戦争のときの西郷頼母の父)は、腕組みをときながら、「考えといふほどまだまとまっていないのですが、湯川から城下の町中にひいている『かりがね堰』の水を、もつとたくさん城中にひき入れるしかないと思うのです。ただ、どのくらいひけるか、

また、その影響はどうなるのか、それがまだわからないので調べさせております。だから、今しばらく待つていただきたいのです」「それは、だれに調べさせておられるのかな」藩の命令ではなく、個人的に調べさせていたことなので、その名を言つていのものか、頬母はちょっとと考えたのですが、「佐藤豊助」と、言いました、「ああ、あの計算好きの男か」二人の家老の顔に、ようやく明るさがうかんできました。佐藤豊助は、寛政五年（一七九三年）会津若松に生まれました。父は身分の低い武士でした。農民や町民の上に立つ武士は学問をしなければならないといふ考えから、幼い豊助を近くの塾で学ばせていました。しかし豊助はいつもいろいろな計算問題を解いていました。「お前は計算などばかりしてはいるが、それではりっぱな武士になれないぞ。もっと本を読み。本には昔の人のりっぱな教えが書いてある。そのりっぱな教えを身につけてこそ、りっぱな武士となれるのだ。商人のように金もうけをするなど、武士の恥だ。たとえ暮しは貧しくとも、りっぱな考え方をもって国を治めなければならない。そのためになつてしまふのです。実地に調べて驚いたことは、城下の地形のことでした。戦のとき、敵に水攻めをさせないために、鶴ヶ城は盆地の高い地形のところに作られていました。だから、城内に水をひくことは、高いところに水をひかなければならぬわけです。豊助はこまてしまひました。高いところにもひける豊かな水はないか、——東山から飯盛山を歩きまわっているとき、ふと気がついたのは、猪苗代湖から水をひてくる戸の口の用水路でした。「そうだ、猪苗代湖の水があつた」豊助は用水路をたどって、飯盛山から滻沢へ、峰をぐるりとまわって八田野、さらに複雑な地形を通って猪苗代湖へ出ました。「よくこんなところを切り開いたものだな。この水をもつと流せないか」昔の人の努力に感心するとともに、昔の人にできしたこと、が、自分でできないはずがない、と

が、夜の間に調べた地図を持つて、実際の地形を調べるために歩きまわりました。まず、城中に流れこむ湯川、大川、日橋川を調べました。しかし、三つともこれ以上の水を城下にひくことのできないことがわかりました。田の水が足りなくなつてしまふのです。実地に調べて驚いたことは、城下の地形のことでした。戦のとき、敵に水攻めをさせないために、鶴ヶ城は盆地の高い地形のところに作られていました。だから、城内に水をひくことは、高いところに水をひかなければならぬわけです。豊助はこまてしまひました。高いところにもひける豊かな水はないか、——東山から飯盛山を歩きまわっているとき、ふと気がついたのは、猪苗代湖から水をひてくる戸の口の用水路でした。「そうだ、猪苗代湖の水があつた」豊助は用水路をたどって、飯盛山から滻沢へ、峰をぐるりとまわって八田野、さらに複雑な地形を通って猪苗代湖へ出ました。「よくこんなところを切り開いたものだな。この水をもつと流せないか」昔の人の努力に感心するとともに、昔の人にできしたこと、が、自分でできないはずがない、と

が、夜の間に調べた地図を持つて、実際の地形を調べるために歩きまわりました。まず、城中に流れこむ湯川、大川、日橋川を調べました。しかし、三つともこれ以上の水を城下にひくことのできないことがわかりました。田の水が足りなくなつてしまふのです。実地に調べて驚いたことは、城下の地形のことでした。戦のとき、敵に水攻めをさせないために、鶴ヶ城は盆地の高い地形のところに作られていました。だから、城内に水をひくことは、高いところに水をひかなければならぬわけです。豊助はこまてしまひました。高いところにもひける豊かな水はないか、——東山から飯盛山を歩きまわっているとき、ふと気がついたのは、猪苗代湖から水をひてくる戸の口の用水路でした。「そうだ、猪苗代湖の水があつた」豊助は用水路をたどって、飯盛山から滻沢へ、峰をぐるりとまわって八田野、さらに複雑な地形を通って猪苗代湖へ出ました。「よくこんなところを切り開いたものだな。この水をもつと流せないか」昔の人の努力に感心するとともに、昔の人にできしたこと、が、自分でできないはずがない、と

いう自信もわいてきました。若松と猪苗代湖の間を、何回も馬で駆けめぐるうちに豊助は、八田野の肝煎、八田宗吉の名を聞きました。この人の力をかりるしかない。と豊助は八田野をたずねました。突然の訪問をうけた宗吉は、豊助をていちょうに迎えてこう言いました。「いま、私が用水路を管理しているのは、私の祖先の内蔵之助がこの用水を初めて手がけたからです。この水のおかげで、私たちの村も豊かになり、田もひろげることができます。でも、二百年もたっているのです。毎年の修理だけでは間に合いません。藩のお力で大修理ができるんだに助かるとか。私たちもぜひ協力させていただきたいと思います」喜びいで、伊喜右衛門はこう言ってくれたのです。「この近くでは飯盛山のまわりに大きな希望がわいてきました。伊喜右衛門はこう言ってくれたのです。「この近くでは飯盛山のまわりの用水路が、大雨で水かさが増すたびに土手がくずれてしまい、ほとんどの水が下の不動川に落ちてしまうのです。そのたびに修理をしていま

るには、測量のし方や水の力をはかる方法など、もっとたくさんのことを学ばなければならぬと思いました。豊助は、簡単なものからだんだんむずかしいものへと進んでいました。わからぬところがあると、どこにでも行つてわかる人にたずねました。二十歳を過ぎるころには、計算を何か実際の仕事に役立つものに生かそうと考えるようになりました。ある年に、大雨が降つて、大川の水が田や畠にあふれ出したことがありました。豊助は、この水をどうねました。二十歳を過ぎるころには、計算を何か実際の仕事に役立つものに生かそうと考えるようになりました。ある年に、大雨が降つて、大川の水が田や畠にあふれ出したことがありました。豊助は、この水をどうねました。二十歳を過ぎるころには、計算を何か実際の仕事に役立つものに生かそうと考えるようになりました。ある年に、大雨が降つて、大川の水が田や畠にあふれ出したことがありました。豊助は、この水をどうねました。二十歳を過ぎるころには、計算を何か実際の仕事に役立つものに生かそうと考えるようになりました。ある年に、大雨が降つて、大川の水が田や畠にあふれ出したことがありました。豊助は、この水をどうねました。二十歳を過ぎるころには、計算を何か実際の仕事に役立つものに生かそうと考えるようになりました。ある年に、大雨が降つて、大川の水が田や畠にあふれ出したことがありました。豊助は、この水をどうねました。二十歳を過ぎるころには、計算を何か実際の仕事に役立つものに生かそうと考えるようになりました。ある年に、大雨が降つて、大川の水が田や畠にあふれ出したことがありました。豊助は、この水をどうねました。二十歳を過ぎるころには、計算を何か実際の仕事に役立つものに生かそうと考えるようになりました。ある年に、大雨が降つて、大川の水が田や畠にあふれ出したことがありました。豊助は、この水をどうねました。二十歳を過ぎるころには、計算を何か実際の仕事に役立つものに生かそうと考えるようになりました。ある年に、大雨が降つて、大川の水が田や畠にあふれ出したことがありました。豊助は、この水をどうねました。二十歳を過ぎるころには、計算を何か実際の仕事に役立つものに生かそうと考えるようになりました。ある年に、大雨が降つて、大川の水が田や畠にあふれ出したことがありました。豊助は、この水をどうねました。二十歳を過ぎるころには、計算を何か実際の仕事に役立つものに生かそうと考えるようになりました。ある年に、大雨が降つて、大川の水が田や畠にあふれ出了

るには、測量のし方や水の力をはかる方法など、もっとたくさんのことを学ばなければならぬと思いました。豊助は、簡単なものからだんだんむずかしいものへと進んでいました。わからぬところがあると、どこにでも行つてわかる人にたずねました。二十歳を過ぎるころには、計算を何か実際の仕事に役立つものに生かそうと考えるようになりました。ある年に、大雨が降つて、大川の水が田や畠にあふれ出したことがありました。豊助は、この水をどうねました。二十歳を過ぎるころには、計算を何か実際の仕事に役立つものに生かそうと考えるようになりました。ある年に、大雨が降つて、大川の水が田や畠にあふれ出したことがありました。豊助は、この水をどうねました。二十歳を過ぎるころには、計算を何か実際の仕事に役立つものに生かそうと考えるようになりました。ある年に、大雨が降つて、大川の水が田や畠にあふれ出したことがありました。豊助は、この水をどうねました。二十歳を過ぎるころには、計算を何か実際の仕事に役立つものに生かそうと考えるようになりました。ある年に、大雨が降つて、大川の水が田や畠にあふれ出したことがありました。豊助は、この水をどうねました。二十歳を過ぎるころには、計算を何か実際の仕事に役立つものに生かそうと考えるようになりました。ある年に、大雨が降つて、大川の水が田や畠にあふれ出了

るには、測量のし方や水の力をはかる方法など、もっとたくさんのことを学ばなければならぬと思いました。豊助は、簡単なものからだんだんむずかしいものへと進んでいました。わからぬところがあると、どこにでも行つてわかる人にたずねました。二十歳を過ぎるころには、計算を何か実際の仕事に役立つものに生かそうと考えるようになりました。ある年に、大雨が降つて、大川の水が田や畠にあふれ出したことがありました。豊助は、この水をどうねました。二十歳を過ぎるころには、計算を何か実際の仕事に役立つものに生かそうと考えるようになりました。ある年に、大雨が降つて、大川の水が田や畠にあふれ出したことがありました。豊助は、この水をどうねました。二十歳を過ぎるころには、計算を何か実際の仕事に役立つものに生かそうと考えるようになりました。ある年に、大雨が降つて、大川の水が田や畠にあふれ出了

るには、測量のし方や水の力をはかる方法など、もっとたくさんのことを学ばなければならぬと思いました。豊助は、簡単なものからだんだんむずかしいものへと進んでいました。わからぬところがあると、どこにでも行つてわかる人にたずねました。二十歳を過ぎるころには、計算を何か実際の仕事に役立つものに生かそうと考えるようになりました。ある年に、大雨が降つて、大川の水が田や畠にあふれ出したことがありました。豊助は、この水をどうねました。二十歳を過ぎるころには、計算を何か実際の仕事に役立つものに生かそうと考えるようになりました。ある年に、大雨が降つて、大川の水が田や畠にあふれ出了

るには、測量のし方や水の力をはかる方法など、もっとたくさんのことを学ばなければならぬと思いました。豊助は、簡単なものからだんだんむずかしいものへと進んでいました。わからぬところがあると、どこにでも行つてわかる人にたずねました。二十歳を過ぎるころには、計算を何か実際の仕事に役立つものに生かそうと考えるようになりました。ある年に、大雨が降つて、大川の水が田や畠にあふれ出したことがありました。豊助は、この水をどうねました。二十歳を過ぎるころには、計算を何か実際の仕事に役立つものに生かそうと考えるようになりました。ある年に、大雨が降つて、大川の水が田や畠にあふれ出了

二、家老の頬み

春の終りのものうい一日が、暮れ来を心配した父は何度も豊助を呼んで注意しました。しかし、豊助はそ

うは考えません。「武士が國のためにつくすのはいいが、人と同じことをやつていてはだめだ。人のやらな

いのだろうか」人のやらない方法で身を立てる——これが豊助の考え方でした。

豊助の計算は、簡単なものからだんだんむずかしいものへと進んでいました。わからぬところがあると、どこにでも行つてわかる人にたずねました。二十歳を過ぎるころには、計算を何か実際の仕事に役立つものに生かそうと考えるようになりました。ある年に、大雨が降つて、大川の水が田や畠にあふれ出したことがありました。豊助は、この水をどうねました。二十歳を過ぎるころには、計算を何か実際の仕事に役立つものに生かそうと考えるようになりました。ある年に、大雨が降つて、大川の水が田や畠にあふれ出したことがありました。豊助は、この水をどうねました。二十歳を過ぎるころには、計算を何か実際の仕事に役立つものに生かそうと考えるようになりました。ある年に、大雨が降つて、大川の水が田や畠にあふれ出了

るには、測量のし方や水の力をはかる方法など、もっとたくさんのことを学ばなければならぬと思いました。豊助は、簡単なものからだんだんむずかしいものへと進んでいました。わからぬところがあると、どこにでも行つてわかる人にたずねました。二十歳を過ぎるころには、計算を何か実際の仕事に役立つものに生かそうと考えるようになりました。ある年に、大雨が降つて、大川の水が田や畠にあふれ出了

るには、測量のし方や水の力をはかる方法など、もっとたくさんのことを学ばなければならぬと思いました。豊助は、簡単なものからだんだんむずかしいものへと進んでいました。わからぬところがあると、どこにでも行つてわかる人にたずねました。二十歳を過ぎるころには、計算を何か実際の仕事に役立つものに生かそうと考えるようになりました。ある年に、大雨が降つて、大川の水が田や畠にあふれ出了

つたので、気がつくと、あんどの火をともした妻のれんが、うしろに座つていました。豊助は、妻とむき合つと静かに語りはじめました。「私は、今度の調査で、八田野や北滝沢だけでなく、たくさんの村でたくさんの人々と話した。その人々は、皆この用水に期待をいだいています。

農民にとって、水は命の次に大切なものです。だから、この仕事がいかに大切かが身にしみてわかつた。同時にこれがお城のためになる。こんなすばらしい仕事ができる私は本当にしあわせ者だ。」聞いているれんの耳には、夫のことばが水のしみこむように入ります。れんは、自分もしあわせだな、と思いました。「私は若いころから、他人のやらない計算を自分のためにやってきました。人のできない計算ができる喜びを感じてきました。それが得意だった。しかし、今はちがう。自分が得をするとか損をするかではない。私の身につけた計算の力は、もつと大きなものために使わなければならない。私の肩には、今、多くの人の運命がかかっています。れんは、身じろぎでいるような気がするのだ。」夜がせまっていました。れんは、身じろぎもせずに夫のことばを聞いていまし

た。夫にとってこれからが大変なんだと思いますと、れんの心も何かがもえてくるようでした。

四、自然の力

天保六年（一八三五年）すすきの穂がゆれ、秋空のひるがる猪苗代湖のほとりに、三人の男が立っていました。湖水を背にして立つ佐藤豊助をはさんで、八田野宗吉と古川伊喜右衛門が戸の口用水路を見つめていたのです。そのわきに小屋が建てられ、「会津藩御用」の旗が湖水を渡る風になびいていました。「いよいよですね。」「うん、いよいよだ。二人にも苦労をかけるが、よろしく頼む。」「はい、これだけは何としてもやりとげます。先祖の切り開いた水路ですから、私たちがやらなければなりません。」「うん、いよいよだ。二人の顔はひきしまり、固い決意がよみがれます。猪苗代湖から若松まで続く用水路の幅を、今までの二倍の三・六mに広げ、深さも六〇cmほど掘り下げようというのです。二百十日に水のせき止めを始めたのですが、付近の農民を人夫にするために、本格的な工事は稻のとり入れが終わってから始められました。戸の口から大野が原を横切るあたりまで

に使つて何んたるざまだ。」「計算が少しうまいからといつて得意になっているから、ぱちがあつたのだ。」「身のほども知らぬやつだよ。」事故の知らせは、たちまち若松の町中に広がり、豊助を非難する声がまき起つりました。近所の人たちでさえ、親しい人も町で会うと顔をそむけてしまうようになりました。しかし、そんな中で、豊水を信じていたのは妻のれんでした。れんは何もことばんしているのでした。豊助には、それがかえってつらく、すまない思いでいっぱいでした。「すべて私が悪かったのだ。すまない。れんにも、殿様や頼母様にも。いや藩の信頼をなくし、農民の期待を裏切つてしまつた。この責任は私にある。」だから、死んでおわびをしなければならない、という覚悟をきめて、豊助は西郷頼母の屋敷をたずねました。事故の様子を報告しないちは死ねないと思ったのです。報告を聞き終つた頼母は「死ぬことはならぬ。」ぱつんと言つて目をつむりました。春の日ざしがさと座敷いっぱいにさしこんだ

た。夫にとってこれからが大変なんだと思いますと、れんの心も何かがもえてくるようでした。

四、自然の力

天保六年（一八三五年）すすきの穂がゆれ、秋空のひるがる猪苗代湖のほとりに、三人の男が立っていました。湖水を背にして立つ佐藤豊助をはさんで、八田野宗吉と古川伊喜右衛門が戸の口用水路を見つめていたのです。そのわきに小屋が建てられたのです。そのわきに小屋が建てられ、「会津藩御用」の旗が湖水を渡る風になびいていました。「いよいよですね。」「うん、いよいよだ。二人にも苦労をかけるが、よろしく頼む。」「はい、これだけは何としてもやりとげます。先祖の切り開いた水路ですから、私たちがやらなければなりません。」「うん、いよいよだ。二人の顔はひきしまり、固い決意がよみがれます。猪苗代湖から若松まで続く用水路の幅を、今までの二倍の三・六mに広げ、深さも六〇cmほど掘り下げようというのです。二百十日に水のせき止めを始めたのですが、付近の農民を人夫にするために、本格的な工事は稻のとり入れが終わってから始められました。戸の口から大野が原を横切るあたりまで

かと思うと、また曇って、軒先の庭石に雪どけのしずくのたれる音が聞こえます。「のう豊助、自然の力はおそろしいものだなあ。お前がじゅうぶんに計算した強さを、自然はみごとに破つたのだ。今度はお前がその自然の力をはね返す番だ。お前はいつか、この用水路は今作らなければいけないときがある。どうしても必要な自然の力をはね返す番だ。お前はばいつできるかわからぬ、とわしひとばいつできるかわからぬ。自然はお前をために言つたことがあつたな。そうなのだ。今この用水路はどうしても必要なのだ。しかも、これから何百年も自然の力にたえる用水路を作らなければならぬ。自然はお前をために言つたのもそれぬ。」聞いている豊助は恥ずかしくなりました。自分ひとりの気持ちにこだわっている、自分のせまい心が恥ずかしくなりました。この用水路にかけられている、自分がこれまでと藩と農民の期待が、身にしみてわかつきました。豊助はふたたび立ちあがりました。八田野宗吉と古川伊喜右衛門もお金を集めて、おたがいにはげまし合いました。自然の力に負けないものを作るために計画のやり直しをする豊助、長い間、用水路を管理して水の流れ方や地形にくわしい宗吉、人夫のわ

は、工事は順調に進みました。ところが、松林や滝沢の山に進んで、せまい谷間にさしかかると、仕事はなかなか進まなくなりました。せまくやるところでは、片方の土手だけに大きい力が加わり、大雨で水がふえれば大変な力になります。水力に負けない土手はどの位の強さがいるか、豊助の計算力がここでも生かされますが、土のやわらかな所の工事には、どの位の資材を使つたらくずれない土手がつくれるか、豊助の計算にしたがつて必要な資材が用意されます。岩場のかたい所では、それにあつた道具を使わなければなりません。豊助は、西名子屋町の谷蔵など、腕のいい鍛冶屋さんに道具を作つてもらいました。水が流れるように勾配をつけるには、昼は竹竿を、夜はち

りふりや資材、道具集めに走りまわる伊喜右衛門、——豊助のほかの奉行たちもそれぞれの分担した仕事に行たちもそれぞれの分担した仕事に行たまつた。両方から掘つていて途雪が野山をつつみました。年が明けると、豊助は雪どけ水が心配になりました。日ざしがあたかくなるにつれて、深い雪をふみわけて用水路の見まわりをする豊助の姿が毎日の雪が野山をつつみました。年が明けた。豊助は雪どけ水が心配になりました。日ざしがあたかくなるにつれて、深い雪をふみわけて用水路の見まわりをする豊助の姿が毎日の自然の力にたえる用水路を作らなければならぬ。自然はお前をために言つたのもそれぬ。」聞いている豊助は恥ずかしくなりました。自分ひとりの気持ちにこだわっている、自分のせまい心が恥ずかしくなりました。この用水路にかけられている、自分がこれまでと藩と農民の期待が、身にしみてわかつきました。豊助はふたたび立ちあがりました。八田野宗吉と古川伊喜右衛門もお金を集めて、おたがいにはげまし合いました。自然の力に負けないものを作るために計画のやり直しをする豊助、長い間、用水路を管理して水の流れ方や地形にくわしい宗吉、人夫のわ

は、工事は順調に進みました。ところが、松林や滝沢の山に進んで、せまい谷間にさしかかると、仕事はなかなか進まなくなりました。せまくやるところでは、片方の土手だけに大きい力が加わり、大雨で水がふえれば大変な力になります。水力に負けない土手はどの位の強さがいるか、豊助の計算力がここでも生かされました。土のやわらかな所の工事には、どの位の資材を使つたらくずれない土手がつくれるか、豊助の計算にしたがつて必要な資材が用意されます。岩場のかたい所では、それにあつた道具を使わなければなりません。豊助は、西名子屋町の谷蔵など、腕のいい鍛冶屋さんに道具を作つてもらいました。水が流れるように勾配をつけるには、昼は竹竿を、夜はち

五、洞門にいどむ

用水路の工事を進めながら、同時に解決しておかなければならぬ大きな問題が、つねに豊助の頭から離れませんでした。それは、飯盛山の洞門をどうやって掘り抜くかということです。豊助にとってははじめての経験です。豊助は手に入るかぎりの本を読み、いろいろ人の話を聞きまし

た。洞門の出口と入口の地形や地質も調べ、地図は何枚も書きました。今までにないくらい、慎重に測量をしました。両方から掘つていて途中であわなかつたら大変です。洞門の大きさや傾斜——何しろ表面から見えない地面の下のことですから、計算もていねいに何回もしました。ある日、穴を掘る道具のことで相談をしての帰り道、一之丁の西郷頼母の屋敷にさしかかったとき、頼母の家に使われている久作という男が、石が森の出身であることを思い出しました。石が森というのは、昔から藩の金山としてたくさんの中を掘り出していたところなのです。豊助は久作をたずねてみました。「久作さんは石が森の出身だというが、もしかして金山の仕事をしていたのです。豊助は父も金掘り職人で、私も金山で働いていましたが、このごろ金があまり出なくなつたので、山を下りたのです。」「ほう、では石が森や金掘りあたりの、昔鉱山で働いていた人を知っているね。」「はい、知つておりません。佐藤さま、いよいよ飯盛山の洞門掘りが始まるのですね。」久作は頼母のやしきにつとめているので、豊

た。夫にとってこれからが大変なんだと思いますと、れんの心も何かがもえてくるようでした。

助のやっている仕事は知っています。」「佐藤さま、洞門を掘るのでしたら、金掘り職人、石切り職人を中心とした人夫も集まりました。いよいよ作業にかかる前日、豊助は、工事に協力してくれますよ。」豊助は、久作をたずねてよかったです。

洞門の工事になると、今までの農民の人夫より、金掘り職人がよいだらうと思ってたずねたのですが、慶山の石切場までは考えませんでした。

「それからもう一つ、佐藤さまは洞門の中で仕事をするとき、明かりはどう考えていらっしゃいますか？」

「暗くて仕事にならないから、タバコでも使おうと思っていますが、タバコの中でもタイムなどもやしたら、タバコがひどく仕事になりません。鉱山では菜種油を使っていますが、これなら穴の中でも使えます。」豊助には堤防を築いたり、堀を作ったりする経験はありました。今度のようないくの大地の中の工事経験はありませんでした。経験の大切なことを改めて知らされた思いがしました。こうして、準備はどんどん進められていました。石切り職人の知恵を借りて石をくくだ道具もそろいました。

若松へむけて走るように流れていきます。八田野から滝沢、そして飯盛山の山腹に達した水は、とうとうと音を立てて洞門に吸いこまれていきました。二人は洞門の出口へも行ってみましたが。水は、洞門から水路をたどりながら若松の城下へ流れ下っていました。一人が飯盛山から若松の城下をながめたところ短い秋の日は暮れて、しぐれが用水路の堤防に散りしかれたイチョウの葉をぬらしていました。完成した昔を思い出しても喜びをふたたび感じていた一人には、しぐれもそれほど気になりませんでした。

その夜、家に帰ってからも昔の思い出を語り合って、二人はなかなか寝つかれませんでした。初めて洞門に水が通された日——たくさんの人々の目の前で水が走りぬけると大きな歓声がわきおこった——西郷頼母を始めとするたくさんの人々からおほめのことばをうけ、一八田野宗吉や古川伊喜右衛門たちと手をにぎり喜び合つた——これらの一つ一つが切れ切れな場面として、二人の胸に思い起こされました。「あの日、私は、私の計算好きを笑いものにしていましたたくさんの人からも、おほめ

菜種油もじゅうぶん用意しました。金掘り職人、石切り職人を中心とした人夫も集まりました。いよいよ作業にかかる前日、豊助は、工事にあたる人や飯盛山の近くの農民たちを集めました。飯盛山には弁天さまをまつた神社があつて、飯盛山に洞門などを掘れば神様の罰があたるだろうといううわさを聞いたのです。

豊助は藩のための工事であることをよく説明し、神主様に工事の無事を祈つてもらいました。豊助自身も、また集まつた人たちといつしょにお祈りをして、人々の不安とおそれをなくして工事を始めることにしたのです。飯盛山に、大地を掘るつちの音が響き始めました。初めての経験ですから工事は慎重に進められました。少し掘つては磁石で方向をたしました。飯盛山に、大地を掘るつちの音が響き始めました。初めての経験です。飯盛山は火

山から噴き出したものがたまつてできた岩なので、掘りやすく、掘つてもくずれません。鉄分も少ないと地質がありませんでした。このころは、鉄分による磁石のくるいから方向を誤ることがありました。一ヶ月あまりたつたある日、豊助は、自分の計

算によると、そろそろ開通するころだろうと考えて、洞門の工事現場に入つてきました。豊助の姿を見て、人夫たちの仕事ぶりも熱をおびてきました。一人として休もうとする者はいません。泥によごれた顔は汗になりました。泥は立ちどりました。目の前で働く

人夫のものとはちがつた物音です。助は立ちどりました。豊助自身も、まみれで真っ黒です。そのとき、豊

助の耳に変な物音が聞こえてきて豊は立ちどりました。豊助の声と共に手を

まみれで真っ黒です。そのとき、豊

はいません。泥によごれた顔は汗になりました。泥は立ちどりました。豊助自身も、涙が後から後から出てきました。

「佐藤さま、ようやく！」うしろから伊喜右衛門が泣き声と共に手をさし出しました。「ありがとうございます。豊助も

ことはことばにならないまま、豊助も涙が後から後から出てきました。

「ありがとう。豊助の声と共に、人夫たちはいっせいに岩壁にとびつ

ました。豊助は興奮のあまり、足

もとがふるえるようでした。掘りぬ

くだ、がんばれ。豊助の声と共に、人夫たちはいっせいに岩壁にとびつ

ました。豊助は興奮のあまり、足

もとがふるえるようでした。掘りぬ

く立っていました。土の冷たさが、片手を通してからだ全体を伝わり、

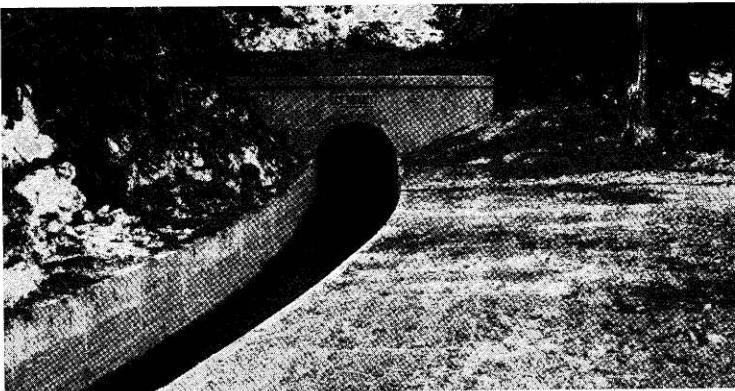
ようやくふるえがとまつたと思った

とき、人夫の一人のふるったのみが空を切るように岩壁の中に吸い込まれました。「やったあ。」のみをほお

り出した人夫たちは、夢中になつて両手で石や土をかき出しました。穴

磁石と書類をしっかりと抱いて、豊助のからだはもう動こうとしませんでした。五月二十五日、仕事熱心の一生でした。

約一八〇mの飯盛山の洞門を含めて、新しい戸の口用水路は、のべ五万五千人の人力によってできました。猪苗代湖から若松まで約三〇km、この水は一、八〇〇haの田畠をうるおし、町や村の水車をまわし、火災を防ぎ、さらに現在は、会津若松市の飲料水として、または水力発電にも使われて、私たちの生活に大切な用水路になっています。それを計画し、完成させた佐藤豊助の墓は、会津若松市昭和町の蓮華寺（本改良区の西約三〇〇m）にあります。その隣には、一生をかけの功労者としてさえた妻の墓が、よりそうよう立っています。



洞門入口 飯盛山裏側



土地改良相談事例

(会計検査情報より)

振込による受領証について

〔問〕 当公益法人の手数料の納付は、指定金融機関（銀行、郵便局）への振込制度を採用しています。この場合指定金融機関は振込人に対しでは受領証（いわゆる領収証書）を交付し、当法人には領収振込通知が送付されます。これにより収入の調定を行い、帳簿へ記帳整理しています。このように振込制度を採用しているため、通常、金融機関の受領証が領収証書として取扱われています。ところが最近ある機関からの受領証について、これは、単なる金融機関の受領証であり、正当債権者である当法人の領収証書の請求がありました。これに対して当法人の領収証書の発行を拒むことはできないでしょうか、お伺いします。

〔答〕 債権者への支払方法は、一般には当事者間の合意によって定まりますが、いわゆる公共料金等については一方的に事業者の規程等で定

められている場合もあります。そして、これ等は一般に金融機関（銀行、郵便局）の振込、振替制度を採用しています。この制度は、金融機関が加入者のため口座を設けて、加入者または加入者でない者の払い込み金額を加入者の口座に受け入れるなど

められています。この場合は、金額を加算され、支払を受取らなければなりません。このように振込制度は、通常、信頼性が非常に高いものとされており、振込みの依頼をすれば、振込明細書のとおり振込まれたものとみることも可能であると思われますし、一般的の商取引慣行も同じような取扱になっています。しかし、厳密には、債務は正当な弁済受

領権者が弁済を受領することによって消滅することも考えますと、実際に債務が弁済されたことを確認する意味で、債務者が債務の弁済として債権者が受領したことを証する領收

書の提出を求めるのもあろうかと思われます。このような場合、法律的には、弁済した者は弁済を受領した者に受取書（証）の交付を請求でありますので、單に、金融機関の受領証の発行を理由に、これを拒否することはできないものと解されます。参考までに、振込制度による領収書の扱いについて、二、三の会計規程の実例を掲載します。

〔参考〕

（民法第四八六条）規定にない場合は、国庫金の取扱制度として、日本銀行という特殊な機関を利用していける関係で、債権者の預金への振込みの方法による支払については、日本銀行に交付することになっており（支取引金融機関の発行した振込金受取書等をもって領収書に代えることが可能）。

（金銭の支払に際しては、支払先より適正な領収書を徴収しなければならない。ただし、口座振込みにより金銭を收取したときは、相手方の要求がない限り領収書を作成交付しない。）

（金銭の支払については、最終受取人の署名ある領収書を受取らなければならぬ。）

（金銭の支払に際しては、支払先の領収書を受取らなければならない。）

（金銭の支払に際しては、支払先より適正な領収書を徴収しなければならない。ただし、口座振込みにより金銭を收取したときは、相手方の要求がない限り領収書を作成交付しない。）

（金銭の支払に際しては、支払先より適正な領収書を徴収しなければならない。ただし、口座振込みにより金銭を收取したときは、相手方の要求がない限り領収書を作成交付しない。）

（金銭の支払に際しては、支払先より適正な領収書を徴収しなければならない。ただし、口座振込みにより金銭を收取したときは、相手方の要求がない限り領収書を作成交付しない。）

（金銭の支払に際しては、支払先より適正な領収書を徴収しなければならない。ただし、口座振込みにより金銭を收取したときは、相手方の要求がない限り領収書を作成交付しない。）

昭和六十年度 土地改良県外研修

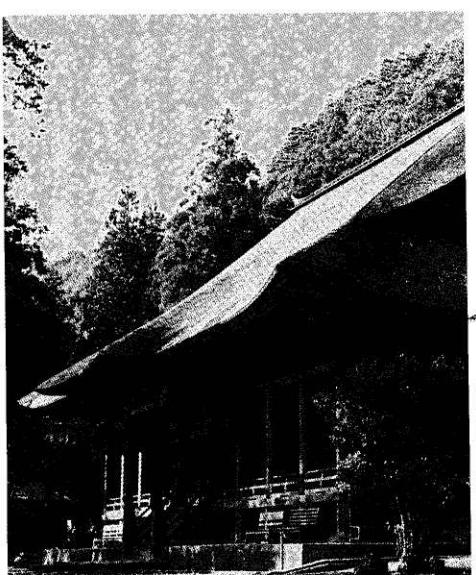
面積は五、五〇〇ha総代四十一人理事九人監事四人職員三十三人施設監視人二十五人の組織であり、事業は国県宮かんばい事業完了後の施設の管理と県ぼ赤川地区のうち二、〇六五ha（六三億）鶴岡西部地区のうち二、七〇〇ha（一四四億）が管内で、赤川地区は一、四五〇人の受益者で換地処分は昭和五十五年九月に完了している。鶴岡西部地区は昭和五十年着工で現在施工中、改良区の賦課関係は一〇a当たり県ぼ関係で九千円から一万円一般経常は維持管理費を含み約三千円で運営している。

説明は大規模な場整備事業の施行状況や換地関係の集團化の方法処分・苦情処理等について説明された。この

れら事業の推進、協力については理事会とともに事業運営委員会、ほ場整備促進協力会（市町村単位）協力委員会（地区毎）部落協力会（大字毎）を設けており換地委員は受益者十人に一人の割で委嘱して適確に調整を図り処理している。説明後参加会員から予定時間を過ぎてまで質疑があつて研修を終え再度車中の人となった。バスは東北の露山と知られる羽黒山に参拝し途中昼食後さらに湯殿山に参拝一路、国道一二二号線月山花笠ラインを東に向う天童を経て、仙台宮城より高速道に入り午後六時過ぎ福島駅前に無事帰郷することができた。



(平形)



出羽三山 (本山慈恩寺)
東北屈指の名刹で、1,200年の歴史をほこり本堂はじめ仏像群は国的重要文化財に指定されている。

— 15 —

毎年度恒例となっている、本協議会及び県農地集団化推進協議会共催による県外優良土地改良事業県外研修は、去る九月三十日、十月一日の両日、県内各農地事務所及び単独事務所の職員の方々を始め両協議会の会員五十人が参加して、山形県鶴岡市周辺の大規模県ぼ赤川地区について現地研修が行われた、本会より高倉会長以下が参加した。一日日は午前十時三十分福島交通バスで福島駅前を出発、前日まで降り続いた雨もようやく止んで時折り薄日がさして多少さわやかな研修日となり全員晴々とした気持で車中の人となつた。バスは高速道を一路古川まで行き、さらに国道四十七号線を西へと向い途中鳴子峡を雨のため車中より眺め最上川添えに進み白糸の滝で休息、当日は時間的に研修はできず午後五時宿舎の湯野浜温泉「ホテル都」に到着した。

翌日は午前八時宿舎を出発、まず

呑み屋で拾つた話（その十四）

平形清一

一、酒飲みの大売出し

毎年同じことではあるが、年末年始となるとボーナス吸収のため、何処の店でも大売出しとなる。デパートや商店街での大売出しは必ず「品物の値段が割引している五、〇〇〇円が四、五〇〇円三、〇〇〇円が一、五〇〇円、一三、〇〇〇円が九、八〇〇円と、特に大抵の価額は〇千九百円や〇万九千円などが多い、五百〇〇円よりも九、八〇〇円とすればお客は安いと思う、場合によってはあまり安くすると売れないこともあります。化粧品類は中味が三〇〇円であるから簡単な容器に入れて五〇〇円で特売しても買う人はあまりない。このためわざわざ高級な容器に入れて二、九〇〇円や三、九〇〇円で売ることにより人気が出て多く売れるとのことで、化粧品の中味もわざわざ容器代をねっている人はよほどうかしていると思うと、また商

品に付けてある値段票もいろいろあるが、値段を訂正して印刷してあるものは値下でないので、同じものなら直接手書きで訂正したものの方がよい。さらに白紙でなく黄色紙の値段票は安く見えてたいした品でない。十月や十一月の商品が四、五〇〇円であれば十二月になると五、三〇〇円になり、それを四、八〇〇円に値下げして売られているのが実情である。商品は一定の場所には置かず毎月少しづつ場所や類似の商品を交換してあるのでお客様にはわからない。このため十一月に買う物をさだめて十二月に同じところに行つても値段が下っているだけで前の品物かどうかわからないようになっている。お金に少し予裕があるからごまかされて買うことになる。商売はあきないようく頭をつかっていなければならない。さて、酒飲みの方も大体同じで「酒の飲放題税奉仕料込々」、「得々パック」、「デラックスコース」など

二、飲み屋と晩酌

お酒を飲む人は週に二、三回は晩店では高い店安い店いろいろあるが、それでも三時間くらい飲んで食べて、それでも酒飲みは付合が大切と酒も次第に多く入り酔が早くなる。どうしてもそここのママさんの顔を見ていいのが大変になつたのでそのママさんはカウンターの中から当方の席の横に来て酌してもらつことにした。横に座っていると顔は見えないから都合がよい女の人に変りない、ところがそのママさんは非常に感激して、始めて来てくれた人にこんなにみこまれたのは大変光榮のこと大サービスである。当方とママさんの考えは全然反対であったが、飲んでいて非常によかったです。美人ママだから誰でも好きになり、美人でないママだから好きになる人がいらないと言つことは当てはまらない、どんなママさんでも好きになる人がおり、ママさんも飲みに来る人を好きになるもので、人それぞれ楽しく飲むようにとのことです。

三、美人ママ

酒飲みは誰れでも自分の好きな店に多く行くことになる。店のふんい気、低料金、食物、美人ママ、この四拍子がそろっているからである。しかし酒を飲む人はいつも自分の好きな店ばかりとは限らない。他人にさせられて行くこともあり、他の市町村で飲むこともあり、飲む時期になると半分以上他の店となる。他の店はそれなりに良いところがあるが本人としてはさきの四拍子の一つが二つがかけていると思うとなんなく落ちつかない、一番先に目につくのがママの顔である。友達などに言わせれば心がやさしく、面倒みが非常によいと言うが、人それぞれ好き嫌いがあつて友達がきれいなよいママと思つていても、当方はどうしでも好きになれない場合がある。その人は美人ママと思っているから話

るよう考へながら飲めば、そう高い料金ではないと飲み屋では話す。結果的には晚酌するより飲み屋で飲んだ方が本人のためにも頭がよくなり将来早く一人前の男性になると、飲み屋の宣伝ではないが、また奥様には申し訳ないが、飲み屋での常連は大いばかりである。

三、美人ママ

酒飲みは誰れでも自分の好きな店に多くの店となる。店のふんい気、低料金、食物、美人ママ、この四拍子がそろっているからである。しかし酒を飲む人はいつも自分の好きな店ばかりとは限らない。他人にさせられて行くこともあり、他の市町村で飲むこともあり、飲む時期になると半分以上他の店となる。他の店はそれなりに良いところがあるが本人としてはさきの四拍子の一つが二つがかけていると思うとなんなく落ちつかない、一番先に目につくのがママの顔である。友達などに言わせれば心がやさしく、面倒みが非常によいと言うが、人それぞれ好き嫌いがあつて友達がきれいなよいママと思つていても、当方はどうしても好きになれない場合がある。その人は美人ママと思っているから話

しがうまくゆき酒もうまそくに飲んでいる、当方はあまり気が進まない、それでも酒飲みは付合が大切と酒も次第に多く入り酔が早くなる。どうしてもそここのママさんの顔を見ていいのが大変になつたのでそのママさんは店の黒板に、酒一本三五〇円、ビール五〇〇円、焼酎一、五〇〇円さらにカウンターの中から当方の席の横に来て酌してもらつことにした。横に座っていると顔は見えないから都合がよい女の人に変りない、ところがそのママさんは非常に感激して、始めて来てくれた人にこんなにみこまれたのは大変光榮のこと大サービスである。当方とママさんの考えは全然反対であったが、飲んでいて非常によかったです。美人ママだから誰でも好きになり、美人でないママだから好きになる人がいらないと言つことは当てはまらない、どんなママさんでも好きになる人がおり、ママさんも飲みに来る人を好きになるもので、人それぞれ楽しく飲むようにとのことです。

四、酒代

昼食を飲食店やレストランで食べると、いくら高い料金を支払つても、前もつて代金がわかつているのであります。いつもお金が気にかかる。夜の飲食

店では高い店安い店いろいろあるが、それでも三時間くらい飲んで食べて、それでも酒飲みは付合が大切と酒も次第に多く入り酔が早くなる。どうしてもそここのママさんの顔を見ていいのが大変になつたのでそのママさんは店の黒板に、酒一本三五〇円、ビール五〇〇円、焼酎一、五〇〇円さらにカウンターの中から当方の席の横に来て酌してもらつことにした。横に座っていると顔は見えないから都合がよい女の人に変りない、ところがそのママさんは非常に感激して、始めて来てくれた人にこんなにみこまれたのは大変光榮のこと大サービスである。当方とママさんの考えは全然反対であったが、飲んでいて非常によかったです。美人ママだから誰でも好きになり、美人でないママだから好きになる人がいらないと言つことは当てはまらない、どんなママさんでも好きになる人がおり、ママさんも飲みに来る人を好きになるもので、人それぞれ楽しく飲むようにとのことです。

五、酒の馳走

人で駆走することは良いことで、後払いである。このような店を知つていると友達同志でも大威張で飲まないで、後悔しているのが普通である。誰れでも二店や三店の飲み屋を常連として、つけて飲んでいる、つまり払いである。このような店を知つてみると、友達同志でも大威張で飲まないで、後悔しているのが普通である。誰れでも二店や三店の飲み屋を常連として、つけて飲んで後で払う場合は、飲んだ時に支払うより高く、多く取

を言うが陰ではある人は金があるからあたりまえで仕事も自分ではうまくできないからと、ひどくなると、

馳走することを誇に思っているばかりなどとかげで話している。

お酒のご馳走はほどほどにすべきであり、馳走しなくとも、しそぎても

(+)あまりためにならない。たまには割りかんで会費制で飲むのが一番である。

ご馳走になることをあたりまえと思つて飲んでいる人もいるが、人生いつかはそのつけが廻つて困ることがある。このため人の懐をあてにしている人は豊かにならず、反対に馬鹿にされても馳走している人の方が豊かになることが多い。貸借りは何もお金だけではない。飲み食いも貸借り、言葉や心身までも貸借関係はあるので、借りればいつかは、また別な面で必ず返さなければならぬと思って付合いの酒を味美しなければ、仕事はできても世の中はわからないこと。

六、酒のことば
酒を舌しむ人はいろいろなことを存じと思うが、ある人は本を見て「酒が酒を飲む」「大酒と朝寝は貧乏の近道」と酒席で話しておりまし

た。気にはしないが多少酒に関係があると思ったので一筆。

「酒買って尻切られる」

人に酒をご馳走したのに、尻を切られるような乱暴をされる。好意でしたのに、かえって仇で返されること。

「酒の酔い本性違わず」

どんなに酔つても本来の性質は失われることはない。

「酒と産には懲りた者がない」

二日酔の苦しみや、お産のつらさは大変なものなのに、もうやめた

が、女は娘よりもん熟した

と言ふ者はいない。

「酒極まって乱となる」

楽しく飲み始めた宴も酒量が度を越すと喧嘩が始まること。

「酒と煙草は飲んで通る」

酒と煙草はむだなものではあるが、飲んだために貧乏する者はあまりない。飲まない者がその分貯金して金持になることもない。

「酒は飲むべし飲むべからず」

酒は飲むとも飲まるな。

「酒は燭、肴は刺身酌はたば」

酒は燭の具合(熱すぎてもぬるすぎてもいけない、人の体温がよい)

(人肌)が肝心であり、肴は刺身が一番、お酌は言うまでもなく美

人に限るということ。

「酒は吉酒女は年増」

酒は新酒よりも古酒のほうが深みがあり、女は娘よりもん熟した年増のほうが情愛こまやかである。

「酒は憂いの玉篇」

|| 編集後記 ||

明けましておめでとうございます。会員の皆様には新しいお正月を心

晴れやかにお迎えされたことと拝察いたします。

また常日頃私たちをご指導下さっている県関係の皆様方に対し、新年のごあいさつを申し上げ、本年も昨年同様のご指導を賜りますよう紙上をもってお願ひいたします。

本年も国や県のきびしい財政の余波をうけて土地改良事業も停滞がちで容易でないと思われますが、計画された事業や施行中の事業をさらに創意をこらし活力溢る農村建設に努力する心構えが必要と思われます。

さて本号は新年号となりまして、新年のあいさつを高倉会長はじめ、土地連の笠原会長さんよりいただき、さらに福島農地事務所の早坂課長さんからのご寄稿、また土地改良区では矢吹原の水戸さん、熱塙加納村の鈴木さん、飯舘村の斎藤さん、会津若松市大戸町の小澤さん、戸ノ口堰の兼子さんより、それぞれお忙しいところ投稿いただき厚くお礼申し上げます。

ご承知のとおり昭和六十一年度は、本会が設立して満十年となります

(昭和五十一年十二月二十七日発起人会、昭和五十二年二月二十七日設立総会)ので、何にか記念となる催を考えております。については会員の皆様よりのご意見、ご要望さうに思い出等のご寄稿をおまちしております。

新年にあたり、会員の皆様のご健勝を祈願し、本年も変わぬご厚情を賜りますよう、役員一同心からお願い申し上げます。

酒は悩み事や心配事を忘れさせてくれる美しい錦であると、酒を贊美している言葉。

以上、酒に関することば戒めなど数多くありますが、要是樂しく親しく美しくお酒を飲むことである。

“土地改良事業に関する業務は 皆さんのが会の土地連がお手伝い”

土地改良事業を行う会員の協同組織により、土地改良事業の適切、かつ、効率的な運営を確保、及びその共同の利益を増進することを目的とし、誠心誠意をもって、次に掲げる事業をお手伝いしております。会員の皆さんのご利用をお待ちしております。

1. 技術的援助

- (1) 調査設計
- (2) 事業計画の変更
- (3) 工事監督又は工事の指導
- (4) 確定測量
- (5) 換地に関する業務

2. 相談及び指導

- (1) 土地改良事業に関する相談並びに土地改良資金に関する指導
- (2) 土地改良管理指導センター
 - ・土地改良施設の管理に関する技術的な診断、指導
 - ・土地改良施設維持管理適正化事業に関する助言、指導
- (3) 換地センター
 - ・土地改良事業に関する換地事業の推進
- (4) 農村総合整備センター
 - ・農村総合整備事業の啓蒙並びに技術の向上指導

3. 電算処理

- (1) 土地改良事業工事費積算業務
- (2) 換地業務設計及び経費積算
- (3) 確定測量業務
- (4) 土地改良区の賦課台帳及び通知業務
- (5) 各種土量計算

編集発行人

福島市野田町1丁目15-20
福島県土地改良事業団体連合会内
福島県土地改良団体職員連絡協議会

印 刷

福島市五月町1-15
陽光社印刷株式会社
TEL (0245) 22-4191(代)